結 ゆいっこ 盛岡 新聞
ぼくらの復興支援 IWATE YUICCO
vol.2 発行日／2011.6.26
編集・発行／いわてゆいっこ盛岡
〒020-0839 岩手県盛岡市津志田南 3-7-28
吉田けい子事務所内
Tel：090-4476-7083 Fax：019-636-1088
Mail…… morioka@yuicco.com
Blog …… http://yuicco.com
Twitter …… iwate_yuicco

活動報告

宮古地区清掃ボランティア ◉レポート／金城

活動のメインになっている週1の宮古市内での清掃活動。5月末からはOKバスさんにお世話になり、現地へと向かっています。

市議をされている現地コーディネーターの須賀原さん。彼女が把握されているニーズにできるだけ応えるかたちで、作業内容は毎週変動しますが、側溝の清掃活動はまだまだ人手が足りない状況です。

震災後から手つかずの場所もあり、ふたを開けるまではどんな状態かわかりません。水が膝くらいまでたまってドロドロだったり、逆に乾ききっていたり、中には想像もつかないものが入り混じっています。暑い中での作業は、本当に大変なものです。そんな中ではありますが、同じ想いで参加されているみなさまとコミュニケーションをとりながらの活動で、チームワークもうまれ、活動自体もスムーズになってきました。

▲側溝の作業の様子

先日は地元の方に作って頂いたランチをメンバー16名全員で頂きました。また、清掃中に声をかけてくださったり、サプライズギフトを頂いたり、私達の方が元気をもらって帰ってきます。

回数を重ねるたびに地元の方々の人柄を知り、その温かさにふれるたび、活動の意味の大きさを実感し、気持ちは必ず届く、と確信しています。

今後も地元の方々との連携をとりながら、活動を続けていきたいと思っています。

そして7月には第一回、**東京発弾丸ボランティアツアー**を決行致します。（詳細は右記またはホームページにてご覧ください）

定期的に組んでいく予定なので、ゆいっこの新たな活動のひとつになってくると思います。

▲地元のお母さんたちの手作りランチをいただきました。とても美味しかったです!

宮古市ボランティアツアー vol.1 ※募集は締め切りました

宮古市ボランティア活動と自然エネルギー体験@森と風のがっこう

東京からボランティアに参加頂ける窓口がまた一つ増やせることになりました。1人でも多くの方に被災地の現状を見て、感じて帰って頂き、みんなで被災地を長く支援していくことができたら、と思い企画しました。

また、今回ゆいっこ盛岡では通常のボランティアツアーにプラスして、非常に関心の高まっている自然エネルギーについてみんなで体験し、学び、話す機会を作りたいと考えました。岩手県葛巻町にある「森と風のがっこう」は自然エネルギー教育、エコロジカルな生活教育の場として循環型の暮らしができる施設づくりを進めている、廃校を再利用した施設です。未来ある子どもたちのためにも、おとなである私たちが今知るべきことがここにあると思います。

ゆいっこのスタッフとともに、被災地でのボランティア活動、自然エネルギー体験する、ボランティアツアーです。

【ツアー内容】
●岩手県宮古市ボランティア活動
●岩手県葛巻町の「森と風のがっこう」での自然エネルギー体験
【募集人数】 28名限定
【日　　程】 7月1日(金) ～ 7月3日(日) 1泊3日
【料　　金】 ¥21,800
【主な行程】

7/1(金)	22:00 浜松町バスターミナル集合
7/2(土)	9:00～15:30 宮古市ボランティアセンターにて オリエンテーリング後、作業
	17:40 平庭山荘にて入浴
	19:30 「森と風のがっこう」到着、宿泊
7/3(日)	9:00～11:00 「森と風のがっこう」にて研修
	12:10～13:40 くずまき高原牧場にて昼食、買い物後出発
	22:00 浜松町バスターミナル到着・解散

【主催旅行会社】株式会社岩手県北観光

宮古市ボランティアツアー vol.2

8月はじめに企画しております。
詳細が決まりましたら
ホームページにて告知いたします。

無料バザー（5月28日　宮古市西上村地区公民館）

◉レポート／金城・押川

前回（4月17日）はあっという間に物がなくなってしまい、2回目リクエストの声が多く、待ちに待ったバザー開催となりました。全国の方々から、日用品、生活用品、衣類、食料などの物資を提供頂き、当日は現地のお母さんたちと一緒に準備しました。盛岡では東京、杉並にある子供服会社『株式会社キャン』さま、ドンドンダウンさんから頂いた衣類の仕分け作業を、中央卸売り市場をお借りしてやりました。

以下、レポート／押川

5月28日、宮古市西上村地区公民館で行われたバザーのお手伝いに参加しました。現地の方たちに衣料や生活物資をお配りするバザー（無料）です。全国のみなさんから送っていただいたたくさんの衣料、物資を積んで宮古市へ向かいました。準備の様子は以前のブログをご覧ください。

盛岡での集合の朝、あいにくの雨でした…。が、そんな天気も吹き飛ばす佐藤さんのすばらしい活躍で、トラックいっぱいの荷物も、すばやく積み込め、ブルーシートで雨を避け運ぶことができました。

公民館に着き、2時間ちょっとをかけて会場の設営。現地のお母さんたちの指示を受け、次々と衣料の入ったダンボールや物資を並べました。

大袋のものは小分けにし、並べます。トイレットペーパーは2ロールで一袋にし、割り箸や紙コップも5個で一袋。かなりの量です。300キロちかく寄付をいただいたお米も、2.5キロずつに小分けに。

▲物資を少量ずつ小分けにし、多くの家庭にいきわたるように

かなりの大変な作業ですが、小分けにすることで、ちょっとでも多くの家庭にいきわたりますから、がんばります♪

▲小雨の降る中、宮古市FMの呼びかけや市内のボランティアの方々のチラシ配布のおかげで、開始前から長蛇の列

開始一時間前から徐々に地元の方たちが並び始め、スタート時点ではものすごい列…曲がり角までずらーっと。びっくりでした。無料で生活物資や衣料を配るということを災害FMや、チラシ配りで宣伝していたこともあり、約300人の方が来場しました。

大量に用意したにもかかわらず、子ども紙おむつはあっという間に品切れ、他にも、衣類洗剤と柔軟剤のニーズがかなり高かったです。逆に、少し落ち着いてきたのか、お米はそれほどの殺到はなく、お菓子類も、予想よりゆっくりペースで減っていきました。食べ物類はある程度落ち着いてきたようです。先に衣料品や、日用品のコーナーから回り始めた方が多かったのが印象的です。夏物衣料と、洗剤やスキンケア用品、ハンドクリームも意外と需要がありました。

このように、行く度に現地のニーズは変わってきています。また次回に向け、現地のスタッフと話をし、次回は2ヶ月後なので、お盆に絡んだものも入れて欲しいとの要望を受けました。なるほどなぁと思いました。

それと、何時間も列に並んで疲れているはずなのに、私たちにありがとうと声をかけてくださった方が多かったこと。みなさんの笑顔が見られてうれしかったです。そして、またたの方たちのために必要な物資を持って伺いたいと、そう思いました。

▲今回のバザーは、ゆいっこスタッフ、宮古市の方々、北海道のカリタスジャパンさんとの合同作業

被災地に喪服を送るプロジェクト

7月30日に、お盆を迎える為のバザーを宮古市内で企画しております。今回は、以下の品目を募集しております。いくつもあるものではないかと思いますが、1品でもご支援頂けたら幸いです。

募集物資

●喪服（男・女）●黒いスカート●黒いアンサンブルなど●黒いブラウス●黒いストッキング
●喪服時に持つBAG●黒いネクタイ●白いワイシャツ●黒い靴下（男性用）●薄墨の筆
●香典袋●子供用のポロシャツ（白・黒・紺色）100cm～160cm●黒い靴●線香
●ろうそく（仏壇、墓前用に限る）

■締　切／**7月29日必着**

■お願い／上記以外の物資は今回は受け付けておりませんのでご協力お願いします。大人用の衣類に関しては洗濯済み、もしくはクリーニング済みのものでお願いします。（古着）

■送り先／〒020-0133　岩手県盛岡市青山2-20-23　いわてゆいっこ盛岡　長谷川愛 宛

※物資を直接お持ちになる場合は不在の場合もございますので、お手数ですが事前にお電話（090-9291-9516）にてお問い合わせください。

支援金募集

物資の寄付で賄えない分を現金購入で補うための、喪服用の支援金も募集しております。無理のない範囲でご協力いただければと思います。「喪服用」と振り込み用紙にご記入の上、下記口座までお願いします。

岩手銀行　津志田支店　店番／**070**　**普通預金**　口座番号／**2065288**　口座名義／**ゆいっこ盛岡支部**

ボランティア会議に出席

6月2日、『**NPO連絡協議会第一回交流サロン**』ということで、SAVE IWATE代表理事、寺井良夫さんによる活動内容の発表がありました。

自分たちで出来ることを考え動く、という方針のもと、有志6人で立ち上げたのがこの団体。初期の活動として、安否情報確認&収集、また被災地からリクエストがあがったものをリサーチし、ニーズにあわせ物資を送る活動をしてこられたようです。

3月23日には活動総会を行い、13の活動計画を立て、震災後の新しい地域社会のデザインに関する活動として「提言書」を作成し、復興計画を提出したり、市内で復興プロジェクトを催したり…、様々な面でのフォロー体制を整えてこられたようです。現在は主な活動として、支援物資の受入れ、搬送、仲介をされています。

深刻な状況は続いているので、民間ボランティア、行政との連携は大切で、市として応援していく仕組みを作っていくことが課題である、とまとめられていました。私達も目指すゴールは同じであると思っていますので、お互いの得意分野を生かしながら連携できれば、と考えております。

また、6月3日には、東日本大地震支援全国ネットワーク主催、**「現時会議in岩手」**が開催されました。現場で活動しているNPO、ボランティア団体126名が集まり、現状報告とともに復興を視野にいれた今後の課題についてシェアーし合いました。第一部では地元の現状、要望、展望という視点で4団体の報告がありました。

①陸前高田市災害ボランティアセンター　荻原史さん

人口の一割が死亡、不明。そして七割が避難生活を送っているという陸前高田市。ボランティアに対してのスタッフ人数が少ない中、地元の方々に理解して頂くため、ステッカーなどをはり、活動を進めてきた。他のボランティア団体との連携、という意味で福井県から派遣されている団体とつながりをもっている、とのこと。この団体は独自のスピード感をもっていて、半島のひとつを担当しているようです。

②社団法人　北上青年会議所菊池隼さん

ボランティアセンターを支援するための活動がメイン。現在JCメンバが一大半ではあるが、約400名の一般登録があり、釜石、大槌、大船渡で活動サポート。人、物、情報、お金すべてが不足する現状において、沢山の人に現地に入ってもらえるようサポートしている。

③岩手県立大学　山本克彦さん

'04の中越地震の頃から活動スタート。現地でのニーズ調査&ファイリングをし、'08にボランティアセンターを開設。今回の震災においては3月14日に開設し、4月17日までに250名がボランティアに参加している、とのこと。生活支援にシフトし、「お茶っこサロン」を仮設住宅内につくり支援している。

④SAVE IWATE　鎌田晴己さん

避難者リスト作成からスタートし、物資配送、現地での復興イベント、盛岡市内での物資提供など、ニーズに合わせての活動が注目されている。避難所、在宅避難者の実際の声がリアル。長期にわたる復興にはボランティア団体同士の横のつながりが大切で、自分の目で様々なことを判断していくために、ボランティアが手段になりえる、とまとめていらっしゃいました。

第二部では被災地に今必要なこと、と題し、各団体が行っている活動内容の発表、そしてあとはそれぞれの団体が交流を持つ場となりました。内閣補佐の辻元清美氏からもコメントがあり、定期的な開催を次回目標として閉幕。

▲「現時会議in岩手」で配布された資料。

震災から3ヶ月。盛岡での日常生活は、震災以前と変わらぬものになってきました。しかし、現地では…?!

東北は広く、復旧、復興までの活動が長期的なものです。現在、東北地方での1日平均ボランティア数が平日で140名、週末で300名と言われています。広範囲にわたる東北地方全域で、この人数。しかもゴールデンウィークを境にボランティア数は一気に減少しています。清掃活動でも感じておりますが、まだまだ人手が足りません。

私達は、同じ県であの日に起きてしまった出来事を風化させてはいけません。一人一人の気持ちがうまく活動につながること、そしてその連携が今後の大きな課題であります。『何かをしたい。』『何かできるのでは?』と感じた方々は多くいらっしゃると思います。ただ、どうやってボランティアに参加するか、一人でも大丈夫なのか…などアクションをおこすまでの不安材料はあるはずです。そういった一人でも多くの盛岡市民のみなさま、ひいては全国、海外のみなさまとつながっていくことが私達の目指すところでもあります。

月1度のゆいっこ定例会では、現地の方のお声をお届けする場も設けたいと考えております。現地の方々のお話を伺いながら、彼らが主役となり活動できる日まで、スクラムを組んでいきたいと思っています。新渡戸稲造が当時の震災で宮古を訪れた際、Union is power.（団結は力なり）という言葉を残しています。今が、そのとき。震災前の笑顔が戻る日まで、結びついていきましょう。

6月19日の清掃ボランティアの様子。外国人のボランティアさんや、OKバスの運転手さん、そして宮古市の方々。この日もゆいっこの輪がまたひとつ大きくなりました

支援金箱設置にご協力いただきました

『あなたのその支援、必ず被災地に届けます。』と書かれた支援金箱が完成。「復興の狼煙ポスター」とともに、全国の設置場所に送らせて頂きました。

支援箱の製作にあたり**「J/Kプロダクツ」さま**にご協力頂きました。

また設置場所として、

テニスクラブ　ロングウッド長久手 さま　（愛知県）
株式会社　樽政本店 さま　（愛知県）
テニスショップ庭球クラブ（長久手）さま　（愛知県）
東京青果株式会社 さま　（東京都）
（大田市場）松作 さま　（東京都）
岩手中央青果（株）さま　（岩手県）
じゃじゃおいけん さま　（東京都）
ABAB さま　（福井県）

にご協力頂いています。ありがとうございます。引き続き、設置頂ける場所を募集しております。

支援金募集しております

被災地への支援活動に使う支援金を随時募集しております。 無理のない範囲でご協力いただければと思います。
振込は下記口座までお願いします。

岩手銀行　津志田支店　　店番／ **070 普通預金**
口座番号／ **2065288**　口座名義／**ゆいっこ盛岡支部**

活動記録（5/15～6/15）

月	日	活動内容
5月	15日	清掃ボランティア（宮古市飛鳥方地区）
	22日	ゆいっこ盛岡親睦会
	18日	バザー物資仕分け
	25～27日	バザー物資仕分け
	28日	支援物資バザー手伝い（西上村地区公民館）
	29日	清掃ボランティア（宮古市高浜地区）
6月	5日	清掃ボランティア（宮古市高浜地区）
	12日	清掃ボランティア（宮古市高浜地区）物資倉庫整理

ご支援ありがとうございます

皆様からお預かりした物資･支援金について報告します。ご協力いただいた方のお名前は、5/16～6/15のものとなります。※敬称略

支援金

【支援金合計】¥277,407(6/16現在)
【支出】¥236,075
内訳:マイクロバス代（1回33,000円）、被災地支援物資（醤油･砂糖･塩などの調味料、衣類収納ケース･除湿剤などの日用品の購入）、ガソリン代（自家用車でスタッフが宮古市に行く交通費）、無料バザーの準備品（クリアOPPパック･セロテープ･ガムテープ）
【支援金をいただいた方】真鍋晶子、モリヤユミ、舟津典子、内藤有紀、小原義喜、石田正純、桑川由衣子
【喪服用支援金】¥29,000(6/16現在)
【喪服用支援金をいただいた方】小原義喜、石田正純

支援物資

【提供先】 宮古市西上村地区公民館支援物資バザー　など
【支援物資をいただいた方】香雅堂印房、高科憲邦様、田辺雅人、前田知子、引田玲子、吉田由紀子、内藤有紀、（株）キャン、坂本由希恵、利根川愛、高橋かつ江様、長谷川和子、八重樫あゆみ、押川泉、池ヶ谷靖、杉山理重、村田優子、大金恵美子、大見恵美、NPOいわて住環境管理計画、J/Kプロダクツ、杉山泰生、網野和子、（株）メディアグローバルリンクス
【喪服用支援物資をいただいた方】白鳥史子、臼崎弓子

※「ゆいっこ盛岡新聞」は、いわてゆいっこ盛岡ホームページよりpdfでご覧いただけます。郵送をご希望の方は電話やメールにて事務局にお知らせください。また、事務所にも置いております。